

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標の達成度	本事業は、「安全な生活環境及び地域経済活動環境をつくること」を上位目標としており、農業予定地 200ha を安全化したことにより、同地で働く住民が安心して農作業に従事できるようになった。また、農業予定地が安全化されたことで、今後、本邦企業が生薬原料栽培を行うことが出来るようになり、生薬原料を栽培する過程において多くの地域住民の雇用が創出され現金収入がもたらされ地域の経済活動が活性化するものと予測される。
(2) 事業内容	農業予定地 200ha を深度 2m で不発弾の探査を行い土地の安全化を実施した。 (ア) 不発弾の探査 ・ 探査地域の測量及び径始 チャンパサック県パクソン郡では、郡から指定があった土地の基準点を基として境界の確認、測量、境界線の啓開を実施 サラワン県ラオンガム郡では、前事業で実施した土地に隣接した境界の確認、測量、境界線の啓開を実施 ・ 伐開 鎌・伐採機により概略の伐開をした後、高さ 10cm 以上ある草・灌木等刈取を実施 ・ 探査 1 次探査を深度 30cm で行い、2 次探査を深度 2m で実施 ・ 掘削 探査により反応があった際は、掘削、確認、除去を実施 安全化した土地からは不発弾は発見されなかったが、爆弾・砲弾の破片 31 個、薬莢 256 個、弾丸 91 個、金属片 1,687 個を発見・回収 (イ) 探査の結果、発見された不発弾の処理 (ウ) 記録 ・ 伐開地域の記録 ・ 探査地域の記録 ・ 発見不発弾の記録 ・ 処理回収状況の記録
(3) 達成された成果	(ア) 農業予定地 200ha の安全化 計画面積 200ha に対し、チャンパサック県パクソン郡バーヌアンドン村周辺 195.1ha、サラワン県ラオンガム郡トンスイ村周辺 4.9ha、合計 200ha を安全化し、今後この土地で安全に生薬原料栽培を実施出来る環境を整えた。 ・ 土地の確保：200ha 中 200ha ・ 伐開面積：計画 200ha 中 200ha ・ 探査面積：計画 200ha 中 200ha 今事業では、伐開作業において延 3030 人の住民を雇用し、住民に現金収入をもたらすことで地域の経済活動活性化に寄与した。現在、安全化された土地はブルドーザーでの整地作業が行われており、今後、整地作業及び農作業のため多数の地域住民の雇用が見込まれる。

	なお、前事業で実施したサラワン県ラオンガム郡トンスイ村では、本邦企業が生薬原料栽培を開始して、2012 年 7 月から 2013 年 6 月までの間に、農業用地としての整地作業及び農作業のために約 36,000 名の地域住民の雇用が創出され、地域経済の活性化に寄与した。 （イ）不発弾処理技術に関する助言 不発弾処理現場に置いて JMAS 不発弾処理専門家がラオス人処理員 60 名に対し、不発弾処理技術及び管理業務についての指導を行い能力が向上させた。2013 年 6 月には国家調整委員会（以下、NRA : National Regulatory Authority) Phoukhieo CHANTHASOMBOUNE 長官の視察を受け、事業が安全確実に行われているとの所見を頂いた。また、2013 年 9 月 NRA による不発弾処理業務総合検査を受けたが、問題点なしとの評価であり、専門家の日頃の指導の成果が発揮された。 （ウ）調整会議の実施 2013 年 2 月 14 日、パクソン郡役場においてチャンパサック県副知事を始め県当局関係者等の参集を得て調整会議を実施し、本事業の目的、意義などについて説明した。また、今事業では農業予定地の取得に関する遅れがあったが、会議において事業計画や期間について説明を行い、土地確保の課題に対しても期限を設けて解決するよう直接依頼したことで、関係機関の理解、協力を得ることが出来た。
（４）持続発展性	（ア）安全化した土地の有効活用 安全化した農業用地は、チャンパサック県及びサラワン県が本邦企業に長期間貸与し、従来の作物より付加価値の高い生薬原料栽培が行われている。栽培には人手を必要とするため、多くの雇用が創出される。地域住民が安定的な現金収入を得ることが出来ることで農民の生活水準が向上するものと予測される。チャンパサック県及びサラワン県からは、地域経済の活性化や貧困からの脱却が期待されている。